

# 中国語文法講座

## 比較

### 比較文の最も基本的な語順

語順	意味
A+“比”+B+～(+C)	AはBより～だ
A+“没有”+B+ (那么/这么) ～	AはBほど～ではない
A+“跟/和/与”+B+“一样”(+～)	AとBは同じである
*** 「異なっている」と言いたければ「不一样」を使います。	

他にもいくつか比較文で使える構文がありますのでまずは上記の基本構文をしっかりと覚えておきましょう。（これ以外に覚えておきたい構文は別紙を参照してください）

例：

- ① 我的恋爱比他的浪漫。（私に恋愛は彼のよりロマンチックだ。）
- ② 他没有我聪明。（彼は私ほど賢くない。）
- ③ 我中文水平跟我朋友一样。（私の中国語のレベルは友人と同じだ。）

### 1：A+“比”+B+～(+C)「基本構文」

まず比較文で一番の骨組みを形成する構文が「A+“比”+B+～(+C)」です。

最後の「+C」の部分には比較の結果を表す語が来るのが一般的で、仮に差分が小さければ「一点儿」を、大きければ「～得多/多了/很多」などを置きます。

AとBの部分には名詞句や動詞句などを置くことができ、必ずしもAとBの文法上の性質を同じにしなくてはいけないということではありません。これは上記の③の例がそれです。

③ 我中文水平跟朋友一样。

→本来は「我中文水平跟我朋友的中文水平一样」あるいは中文水平を省略して「我中文水平跟我朋友的一样」と書くべきかと思いますが、「私の中国語レベルと彼は同じだ」と言っても意味上問題ないのでOKです。

さてそれでは例文を3つほど確認しましょう。

中国語	日本語
日本的夏天比马来西亚热得多。	日本の夏はマレーシアより遥かに暑い。
上海美食比东京的丰富一点儿。	上海グルメは東京のより少し豊富だ。
他说的英语比本地人更流畅。	彼の話す英語は現地の人よりもっと流暢だ。

#### \* 相対的程度副詞と絶対的程度副詞

程度副詞には相対的なものと絶対的な物の2種類が存在します。比較文というのは本来AとBの二つを比較するものですから当然使用する程度副詞も相対的な意味合いを持つもので無くてはいけません。

例えば以下のようなものがそうです。

相対的な程度副詞	意味
更	さらに
还	もっと
最	最も
比较	比較的

\* 「最」と「比较」は「A比B～」の比較文では一般に使えません。  
「比起～」か「比起～来」を使います（別紙参照）

絶対的程度副詞は「很」「非常」「真」「太」「有点儿」などがそうで、これらに比較に意味は無くただ単にその程度を描写しているに過ぎないので比較文では使えないのです。

（热很多などの特別な構文によっては使用できますがその場合も形容詞の前には来れません。）

例：

◎日本的夏天比马来西亚热很多。（日本の夏はマレーシアよりずっと暑い。）

✕日本的夏天比马来西亚很热。（???）

---

## 2 : A+“没有”+B+ (那么/这么) ~ (比較の否定文)

否定形というのはもう皆さんご存知のように「不」と「没」がありました。動詞というのは「不」を使うのか「没」を使うのかで生じる意味合いが変化するという話でした。

しかしながら比較文の場合は特殊なシチュエーションでない限り「不比」という形は使わず「没比」という言い方もあるにはありますが基本的には「没有」を使います。

訳し方としては「AはBほど～でない」と訳し、しばしば「那么/这么」が一緒に使われます。

学習者にとってはせっかく肯定形で習った「比」に慣れたのに否定文となると「比」を使わずに表現するわけですから少々混乱することかと思えます。それに「没有=持っていない」と覚えている方もいると思いますので次の例文でしっかり比較文の否定「没有」の使い方に慣れておきましょう。

中国語	日本語
日本的夏天没有马来西亚热。	日本の夏はマレーシアほど暑くない。
上海美食没有东京的那么丰富。	上海グルメは東京ほど豊富でない。
他说的英语没有本地人那么流畅。	彼の話す英語は現地の人ほど流暢でない。

---

### 3：A+“跟/和/与”+B+“一样”(+～)「AとBが同じである事を表す」

次に学ぶのは「A+“跟/和/与”+B+“一样”(+～)」でAとBの程度が等しい事を表す表現です。

「AとB」などの「と」にあたる表現は中国語では「跟」「和」「与」の3つありますが違いとしてはそれほど大きいものでは無く以下の通りです。

- ・「跟」＝口語でよく使われる
- ・「和」＝口語でも書面語でも使われる
- ・「与」＝「和」よりも書面語でよく使われる

ですので作文の内容のレベルが難しいものであれば「和」や「与」を使っておいた方が良いでしょう。困ったときは「和」でOKです。

また同じと言いたい時は「一样」、異なるのなら「不一样」や「不同」、ほとんど同じなら「差不多/差不多一样」、全く同じなのなら「完全一样」や成語表現で「一模一样」なども使えますので合わせて覚えておきましょう。

中国語	意味
我的爱好跟你的一样。	私の趣味とあなたの趣味は同じだね。
他说的内容和你说的不一样。	彼の言ってる内容と君のが違うぞ。
中国大陆总人口与印度差不多 (+一样)	中国大陸総人口はインドとほとんど同じだ。
她的样子跟她妈妈一模一样。	彼女の様子は彼女の母と瓜二つだ。

#### 4：「一点儿」と「有点儿」の違い

最後は形容詞の後ろにつけて程度の比較結果を表す「一点儿=少し」と形容詞の前について話者のにとってマイナスな意味合いを付け足す「有点儿=少し」の違いを確認していきましょう。

\*ちなみに「儿」は口語体なので作文ではもしかしたら入れない方がいいかもしれません。作文の時は「一点」「有点」と書きましょう。

	場所	意味合い
一点儿	動詞・形容詞の後	比較した結果の「少し」
有点儿	形容詞の前	比較の意味合いはなくただ単に「少し」

難点：「有点儿」は一般的にどの参考書を見ても「話者にとってマイナスな時に使われる」と説明がありますが必ずしもそうではないようです。特に意識せずとも使っている場面はありますがおそらく「一般的にはマイナスな事に使う」のでしょう。

#### 比較構文で使えるのは「一点儿」！

ここからわかる通り「有点儿」には比較の意味合いは含まれておらずただ単に「少し」という程度を表すものなので次の表現では「一点儿」を使います。

◎上海美食比东京的丰富一点儿。

✕上海美食比东京的有点儿丰富。

ぶっちゃけて言えば口語で使っても相手に通じるは通じますが試験だと✕にされてしまうので「比較の少しは”一点儿”を形容詞の後ろに置いて使う！」と覚えておきましょう。

## コラム：飾りの程度副詞「很」？

形容詞述語文という文法項目の中で、形容詞が述語になる際は形容詞を裸のまま置くことはできず、何かしらの程度副詞を置かなくてはいけないという事を学びましたね。

これはどういうことかと言うと例えば以下のような文章は全て文法的には不適切です。

- 1：他个子高。
- 2：吃的东西都好吃。
- 3：这件衣服好看。

これらの文章には全て形容詞の程度を示す「程度副詞」が無く、この程度副詞がない場合は文章がまだ終わっておらず後節に文が続き比較・対照の意味合いが生じる感覚があるようです。

「でも形容詞述語文なのだから別に副詞はわざわざ入れる必要はないでしょ？いつでも（非常＝非常に、とても）とか（太＝あまりにも、～すぎる）を入れる文章にしなきゃいけないの？」

確かに程度副詞を入れないと文章がまだ続く感覚があるのなら程度副詞を入れてあげれば済む話なのですが、別に毎回「非常」「太」を入れたいわけではありませんよね。普通に「彼の背が高い」とか「食べ物が美味しい」とか言いたいわけですよ。

そこで登場するのが飾りの程度副詞「很」です。「很」単体では“とても～”と言う意味で習ったと思いますがこの形容詞述語文では飾りの「很」ですので特に意味は無く、もう一つのピリオド（後節文章が来なくても良いようにする）の役割とでも言うべき働きをしてくれます。ですから先程の3つの文章も「很」を入れて完全文にしてやれますが、注意は繰り返しますが「很」には特定の意味がないと言うことです。

- 1：他个子很高。
- 2：吃的东西都很好吃。
- 3：这件衣服很好看。

ちなみに「很」を使って「とても～」を表したい場合は口語の場合は強く読めばOKです。普通に読んでしまうと場面によっては「とても」の意味合いが伝わらないかもしれません。作文の時は程度を強調したければ「非常」、「太」、「真/真的」などの表現を使って表せるとあなたの「とても」「本当に」などの程度が高い意味合いが明確に伝わるでしょう。